

請 願 番 号	請 願 第 1 号	件 名	PFAS汚染から市民を守るための請願
受理年月日	令 和 7 年 3 月 4 日	請願代表者 住所・氏名	各務原市蘇原月丘町3-26-11 PFAS汚染からいのちの水を守る各務原 市民の会 世話人代表 今尾 明美（564名署名）
付託委員会	建 設 水 道 常 任 委 員 会	紹 介 議 員	城戸隆志、波多野優子、古川明美、 小川麻実、水野浩幸

（請願趣旨）

2023年7月末、三井水源地のPFAS（有機フッ素化合物）汚染問題が発覚し、三井水源地の水道水を利用してきた市民は大きな不安におそわれました。近年PFASの毒性の人体に及ぼす影響（脂質異常症、低出生体重児、腎臓がんのリスク上昇等）が明らかになり、欧米諸国では事実上PFAS「ゼロ」を目指し、規制を強めています。体内に蓄積し続けるPFASです。もうこれ以上取り込まないというのがPFAS対策の要です。

しかし、三井水源地PFAS値は10～20台ng/Lで推移しています。市民は自己防衛策として浄水器の設置や様々な水の購入をしています。その経済的負担はとて大きいものがあります。すべての市民は安心して飲める水道水を供給される権利を持っています。それにも関わらず市民自らPFAS対策をしなければならないのは不公平です。

家庭用浄水器、水購入の維持負担に対し市に補助を求めます。又、子どもを守るため再度小中学校等に浄水器の設置を求めます。そして、自分のPFAS血中濃度を知ることは健康リスク回避のため重要です。市民が公費で血液検査が受けられるよう市に求めます。

因みに、岡山県吉備中央町は希望者全員のPFAS血液検査を無料で行っています。千葉県鎌ケ谷市ではPFAS血液検査に上限3万円の助成金を出しています。

（請願項目）

1. 小中学校等に再度、浄水器の設置を求めます。
2. PFAS 対策の家庭用浄水器、水購入の維持負担に対し、市に補助を求めます。
3. 市民が血液検査を公費で受けられるよう市に求めます。

請 願 番 号	請 願 第 2 号	件 名	小中学校給食費無償化を求める請願
受理年月日	令 和 7 年 3 月 4 日	請願代表者 住所・氏名	各務原市新鵜沼台5-140 各務原市の学校等給食費無償化を実現する会 代表 三戸 三知子（824名署名）
付託委員会	経 済 教 育 常 任 委 員 会	紹 介 議 員	波多野優子、城戸隆志、古川明美、 小川麻実、水野浩幸

（請願趣旨）

憲法26条には「義務教育は、これを無償とする」とされていながら、学校給食費や教材など実際には様々な負担があります。

学校給食の無償化はすべての子どもが安心して義務教育を受ける権利を保障するために実施すべきであり、無償化は子どもの権利保障と考えます。

学校給食は健康で文化的な生活を送り、望ましい食生活の基礎・基本を養い、感謝の心や伝統的な食文化の理解を深める大切な機会です。

昨今の度重なる物価高騰で生活苦を抱える家庭も多く、子どもの貧困が増え、年間給食費5～6万円を超える金額は保護者にとって大きな負担になっています。

岐阜県では、岐南町、揖斐川町、垂井町、池田町、山県市で無償化され、神戸町は中学校のみ無償化されるようになりました。全国では約3割の自治体で無償化がすすみ、何らかの対策で無償化に近づけている自治体を合わせると約4割の自治体が給食の無償化をすすめています。

学校給食無償化に要する予算は一般会計の1.1%です。各務原市の将来を担う子どもたちのために税金が有効に使われることを求めます。

（請願項目）

1. 小中学校の給食費を無償にしてください。